

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和 6年 5月10日

学校名 円山小学校

校長氏名 竹田 昇

1 今年度の目標(学校の約束)

- ①学校全体でゴミの減量、節電・節水に努めます。
- ②地球環境について学習します。
- ③地域と連携しリサイクルに努めます。

2 取組内容

① ゴミの減量、節電・節水の取組

- ・委員会の児童が新聞紙などを再利用して作成した「古紙回収袋」を教室に置き、クラスごとに出た古紙を資源ごみとして資源回収に出します。また、委員会の児童が中心となり、放送やポスターを掲示し、ゴミの減量、節電・節水を呼びかけます。
- ・4年社会科「水はどこから」では、水は生活や産業のいろいろな場面で使われている限りある大切な資源であることを学習する。また、「くらしをささえる電気」では、自然の力を使った発電や自分たちができる節電を大勢の人で取り組むことが大切であることを学習する。「ごみのしよりと利用」では、ごみの分別やリサイクルをすることで、ごみを減らすだけでなく、大切な資源を節約できることを学習する。これらの学習を通して、自分たちができることを考え、主体的に節水・節電、ごみの減量に取り組むようにします。
- ・4年理科「生き物の1年をふり返って」では、植物や動物の1年間の様子の変化を観察していくことにより、自然界の生き物の生態は気温による変化が大きいことに気付き、地球温暖化の影響を大きく受けていることを理解し、エネルギーの節約への意識が持続するようにします。
- ・5年家庭科「整理・整とんで快適に」では、空き箱などの不要になった物を生かして使う工夫を考え実践します。
- ・6年家庭科「衣服の手入れで快適に」では、洗濯物の量に合わせた洗剤の量や、手洗い・洗濯機の種類について実践を通して考えます。

② 環境学習

- ・ 6年理科「生き物どうしのかかわり」では、生物多様性について考える学習をします。また、「地球に生きる」では、人の活動は、環境に様々な影響を及ぼしていることを学び、環境を守るための行動宣言書をつくります。
- ・ 5年生のまどかの学習では、米づくりの学習を通して、自然環境や地球環境について本やインターネットで調べたり外部講師の話を聞いたりします。

③地域と連携した取組

- ・ PTA と学校で、年2回の資源回収と年6回の空き缶回収を行います。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。)

①の取組では、教科の学習の中で自分たちの日頃の行動が地球環境や自然界にどのようにつながりどのような影響を及ぼしているのかを理解し、自分の行動を見直し改善し続けていくようにする。(多面的・総合的に考える力、つながりを尊重する態度)

福井市学校版環境ISO 実施報告書

学校名 円山小学校	
1 今年度の目標（学校の約束） ①学校全体でゴミの減量、節電・節水に努めます。 ②地球環境について学習します。 ③地域と連携しリサイクルに努めます。	
2 取組内容 ③ ゴミの減量、節電・節水の取組 ・教室に紙類のごみを入れる場所を設定し、紙類は資源ごみとして資源回収に出しました。 ・放送やポスターを掲示し、ゴミの減量、節電・節水を呼びかけました。 ・4年社会科「くらしをささえる水」では、水は生活や産業のいろいろな場面で使われている限りある大切な資源であることを学習しました。「ごみのしゅりと利用」では、ごみの分別やりサイクルをすることで、ごみを減らすだけでなく、大切な資源を節約できることを学習しました。これらの学習を通して、自分たちができることを考え、主体的に節水・節電、ごみの減量に取り組みました。 ・6年家庭科「衣服の手入れで快適に」では、洗濯物の量に合わせた洗剤の量や、手洗い・洗濯機の選択について実践を通して考えました。 ④ 環境学習 ・6年理科「生き物どうしのかかわり」では、生物は水および空気を通して周囲の環境と深く関わって生きていることを学びました。また、「地球に生きる」では、人の活動は、環境に様々な影響を及ぼしていることを学び、環境を守るための行動宣言書をつくりました。 ・5年生の総合の学習、国語の学習では、米づくりの学習を通して、自然環境や地球環境について本やインターネットで調べました。  ⑤ 地域と連携した取組 ・PTAと学校で、資源回収を2回とアルミ缶回収を6回行いました。	
★ ESDポイント （取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。） ②の取組では、教科の学習の中で自分たちの日頃の行動が地球環境や自然界にどのようなつながりどのような影響を及ぼしているのかを理解し、自分の行動を見直し改善し続けていくようにしました。（多面的・総合的に考える力、つながりを尊重する態度）	
3 處 し	【具体的効果】 ・教室に紙類のごみを集める場所を設定したことで、紙類のごみは資源になることが意識付けられました。 ・学習内容と関連付けて取り組んだことにより、地球環境について多面的なつながりやかかわりを理解することができました。 【改善点】 ・学校での取組が家庭にも広がるように、学校便りなどでの家庭への啓蒙、委員会活動での取組を考えていきたい。

